

科目ナンバリング：DIS-1-351-02

国際学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「基礎知識」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

教員をめざす学生を対象とし、高等学校地歴科・中学校社会科の免許取得に必要な単位の修得を目的とする。高校時代に習った日本史の背景にある史料・学説がもつ重要性を理解するとともに、日本史に対する知識・理解・専門性を深め、教員に必要な学問的資質を習得することを到達目標とする

■授業計画

- 1 織豊政権
兵農分離や石高制など近世社会の枠組みを作り上げた織豊政権の特質について考える。
- 2 幕藩体制の成立と展開
江戸時代前半を中心に江戸幕府の支配システム、鎖国政策、政治過程などを考える。
- 3 幕政の改革
江戸中期以降の幕藩体制の動揺とそれへの幕府側の対応について考えていく。
- 4 幕藩体制の崩壊
開国とその影響、公武合体と尊王攘夷運動など江戸幕府の崩壊に至る政治過程を考える。
- 5 明治政府の成立
江戸幕府を倒して成立した明治政府はどのような政権だったのか、初期の明治政府について考える。
- 6 明治前半の流れ1
明治時代前半の流れを自由民権運動などを取り上げながらまとめていく。
- 7 明治前半の流れ2
前回に引き続き明治時代前半の流れを大日本帝国憲法や初期議会などを取り上げながらまとめていく。
- 8 明治後半の流れ
明治時代後半の流れを政党政治や対外関係などを取り上げながらまとめていく。
- 9 大正時代の政治と社会
大正時代の政治、社会の様子や第1次大戦とその後の世界について考える。
- 10 昭和史（戦前）1
戦前の昭和の歴史について政治の動きを中心にとりあげ、まとめていく。
- 11 昭和史（戦前）2
前回に引き続き政治の動きを中心に昭和史の流れを概観しまとめていく。
- 12 戦後史1
戦後の民主化政策を経て、国際社会への復帰に至る時期の日本の歴史を考える。
- 13 戦後史2
高度経済成長の開始と石油ショック以後の流れから日本の歴史を考える。
- 14 戦後史3
終戦直後から経済大国、バブル崩壊を経て現在に至る戦後の日本の歴史を考える。
- 15 学期試験、後期のまとめ
学期試験を実施する。また、フィードバックとして、近世から現代にいたる日本史の流れを解説する。

■授業の方法

受講者の意見などを聞きながら講義を進める。毎回レジュメを配布するが、授業終了時にはリアクションペーパーの記入や小問の解答、提出を求め、次の授業でフィードバックとして、まとめと前回の授業の小問の解説を行う。

■予習・復習

授業に合わせて高校日本史の教科書や提示した参考書で予習し、理解を深めておく。復習は授業レジュメや授業中に照会した文献などを読み、授業中の小問などを中心に重要な内容や要点をまとめておく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

試験80%、リアクションペーパーなど授業への参加度10%、小問10%。試験後フィードバックとして解説を行う。

■教科書・参考書

（参考書）高校時代使用した日本史の教科書
佐々木潤之介ほか編『概論日本歴史』吉川弘文館、2000年

■関連する科目

社会科地歴科教育法、公民科教育法をはじめ幅広く世界史、地理、政治、経済など社会科に関係する科目。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、千葉県私立高等学校や東京都立高等学校に36年間勤務し、日本史に関する研究実績を積んできており、それを本科目の指導に活かしていく。